

Weekly 原油情勢

改定幅予想

+0.5~+1.5

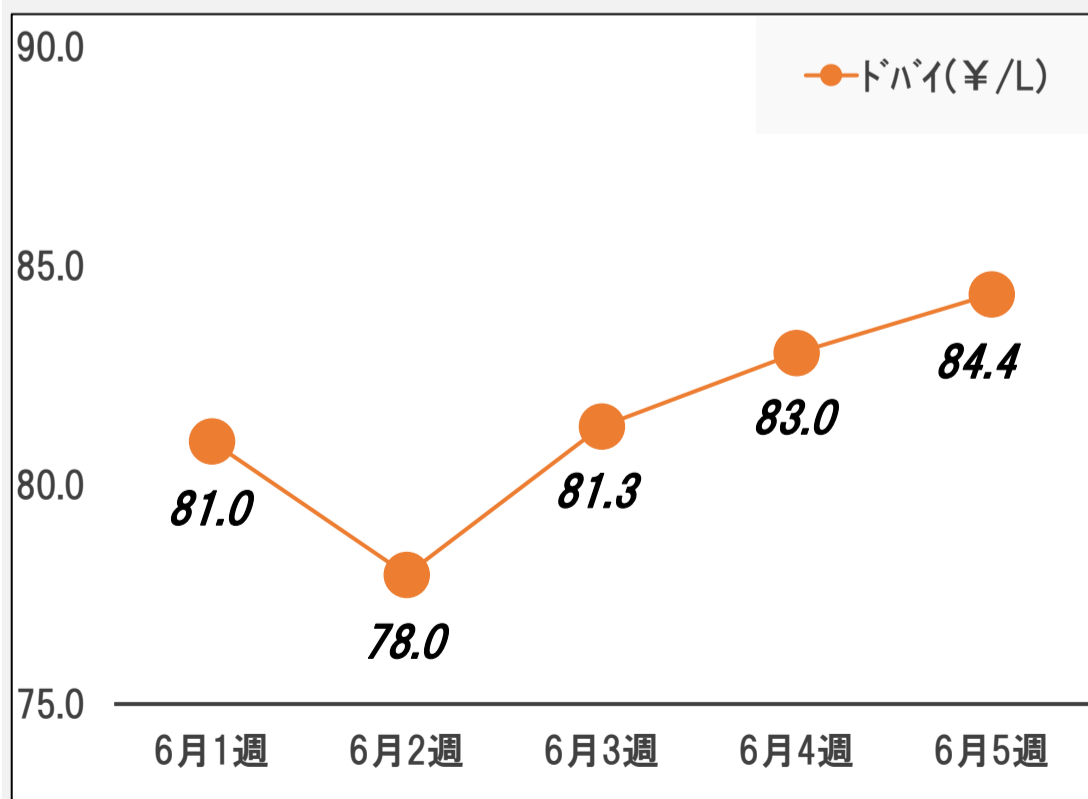
6月5週(6/25~7/1)トピックス

原油は続伸。イスラエル軍とヒズボラの対立が本格的な戦争に発展する懸念。さらにウクライナ軍によるロシアへの製油所攻撃も続き、石油製品の供給不安も台頭。

過去トピックス

- 6月1週▲ 原油は小幅上昇。米国石油協会(API)の報告から在庫水準の大幅な減少が見られ、上昇要因となったと指摘。ただし現状では、上昇要因と下落要因が拮抗している状況。
- 6月2週▼ 原油は反落。これまでの相場上昇に一服感が漂い、利益確定の売りが優勢となっている。WTIが75ドルに達したことで、原油相場の上昇が息切れし始めた。
- 6月3週▲ 原油相場は一段高。堅調な需要見通しを受け、買い戻しが進んでいる。石油需要の見通しが好感され、市場心理が強気に振れている。
- 6月4週▲ 原油市況は強弱材料が交錯し、方向感のない値動きとなっている。WTIは7月限の納会を控え、持ち高調整の売りが進んでいる。

価格推移表



週	期間	ドバイ (\$/バレル)	為替 (TTS)	ドバイ (¥/L)	増減幅
6月1週	5/28~6/3	81.4	158.2	81.0	1.1
6月2週	6/4~6/10	79.0	156.8	78.0	-3.0
6月3週	6/11~6/17	81.8	158.2	81.3	3.4
6月4週	6/18~6/24	83.0	159.0	83.0	1.7
6月5週	6/25~7/1	83.2	161.3	84.4	1.3

「FUJISHO BLACK LABEL」ホームページはこちらよりアクセス ▶▶▶

